

教材分析シート

(5)年(花)組 授業者(高井ゆき)

教材名

うばわれた自由

内容項目

A 善悪の判断、自律、自由と責任

ねらい

「自由」とは、自分のしたいことを自分勝手に行動するというのではなく、みんなが規律を守ることによってそれぞれの「自由」が保証されることに気付き、責任ある行動をとろうとする心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

ジェラルル (王子)

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

ガリユー (森の番人)

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	王子であることをいいことに、国のきまりを破り続けた王子が、その後、裏切りにあい、とらわれの身となった。
助言者の登場	牢屋の中で、以前自分が捕らえたガリユーに出会った。
転 (道徳的变化) After (変化後)	ガリユーに「これからは本当の自由を大切に生きていきましょう」と言われ、はらはらと涙を流してこれまでの自分の行いを後悔した。

④ 一文読み (要約)

王子だからといって、忠告を聞かず、自分勝手に振る舞っていたジェラルルが、囚われの身となってから、自分の行動を後悔する話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	「自分だけ都合のよいようにするのは、本当の自由ではなく、わがままです。」と言われた時、ジェラルルはどう考えたでしょう。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	囚われの身となり後悔をしているガリユーに、「本当の自由を大切に生きてまいりましょう。」と言われたジェラルルは、どんなことを考えたでしょう。
補助発問 (あれば)	
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	「本当の自由」とはどんなものでしょう。